

令和6年度決算について（概要）

（1）貸借対照表関係

学園の財政状態を貸借対照表によって説明すると、令和6年度末現在の資産の総額は、126億6,706万3,363円となった。その内訳は、有形固定資産97億8,320万7,995円、特定資産10億171万7,944円、その他の固定資産1億1,259万3,004円及び流動資産17億6,954万4,420円（内 未収入金4,411万834円）である。

他方、負債の総額は、退職給与引当金、前受金など固定負債及び流動負債を合計して20億3,428万3,030円、基本金は、校地、校舎、機器備品、図書など教育研究に必要な資産の自己調達額を示す第1号基本金が170億9,149万5,984円、学校を恒常的に維持するための資金を示す第4号基本金が2億7,400万円となっている。

（2）資金収支計算書関係

令和6年度の資金収支の状況は、当該年度の収入額が34億445万9,652円、これに、前年度より繰り越された21億5,236万250円を加えると収入の部合計は、55億5,681万9,902円となった。

一方、支出額は、38億3,154万2,018円であったので、差引17億2,527万7,884円が翌年度の繰越支払資金となり、昨年度より4億2,708万2,366円減少した。これは、学生生徒納付金収入の減（-2億1,708万円）、補助金収入の減（-2,300万円）、支出における管理経費支出の増（1,201万円）によるものである。

（3）事業活動収支計算書関係

令和6年度の事業活動収支決算のうち、教育活動収支の概要について昨年度決算額との対比で説明すると、収入については、手数料において昨年度決算額を上回り、学生生徒等納付金、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入、雑収入において昨年度決算額を下回った。

学生生徒等納付金については、21億1,388万7,830円、経常費等補助金は7億5,845万6,376円、手数料が3,425万5,340円、雑収入が8,899万5,055円となった。これらの結果、教育活動収入額は、昨年度決算を2億9,017万304円下回り、30億820万6,477円となった。

一方、支出については、管理経費において昨年度決算額を上回り、人件費および教育研究経費において昨年度決算額を下回った。その結果、教育活動収支における教育活動支出額は、37億5,097万1,568円となった。

教育活動収支差額は△7億4,276万5,091円となり、その他の教育活動外収支差額及び特別収支差額を合わせて、基本金組入前当年度収支差額は、△7億3,900万4,226円となった。

また、基本金組入後の当年度収支差額は、△7億5,875万9,039円で、これに、前年度の繰越収支差額を合算した翌年度繰越収支差額は△67億3,271万5,651円となった。